

## ① 発達障がいの早期発見について

Q (桜井). 発達障がいの早期発見に有効な5歳児健診を実施可能なものにするため、国の機関である千葉法務少年支援センターと、臨床心理士による援助等についての協議を行ってはどうか。

A. 「今回のご提案は大変参考になりました。…連携の可能性などを検討して参ります。」

※発達障がいの早期発見に有効と言われる5歳児健診は、専門家不足のために実施できておりません。そこで、国の人的資源を法律に基づいて活用する、予算が掛からない全国初の試みを提案しました。

## ② 災害時における被災者への支援及び避難所における備蓄品の活用について

Q (桜井). 避難所では、迅速に避難者の情報を把握することが何より優先すべきである。そこで、千葉市の災害情報共有システムに、住民基本台帳のデータベースを取り入れ、迅速に避難者情報を把握し、仮に家族が別々の避難所に避難した場合でも、その情報をすぐに把握でき、「安心」につながるよう、システムを構築してはどうか。

A. その方法は正確・迅速に避難者を把握できるので、システムの改善について検討します。

※現在、船橋市で開発中のシステムを参考に、ほとんど予算が掛からない新たな提案をしました。

## ③ 稲毛区の活性化に向けたまちづくりについて

Q (桜井). 稲毛駅東口ロータリーにおける過密状態の解消策はあるのか。

A. 早急の改善は難しいです。J T跡地を取得したイオンモール等と協議していきたい。

Q (桜井). 西千葉エリア（西千葉駅、天台駅、作草部駅）のまちづくりプランはどうなっているか、特に天台駅周辺の跡地利用について、住民の声を反映できるのか。

A. 都市機能集積ゾーンとしての機能向上を目指します。道路は、市道幕張町弁天町線を概ね5年で、市道西千葉駅稲荷町線と市道椿森弥生町線を5年から10年後までに整備します。これらは、自転車が走りやすい道路であるとの調査結果が出ています。

住民主導のまちづくりのために、「地区計画」、「建築協定」、「まちづくりアドバイザー派遣」や「まちづくり出前講座」等の各種制度を活用することができます。